

国際理工情報デザイン専門学校

学校関係者評価報告書
(平成27年度)

(1) 国際理工情報デザイン専門学校 学校関係者評価の実施について

本校では「学校評価実施規定」に学校評価項目については下記のように定めている。
本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、平成28年8月10日（水）に学校関係者評価委員会を開催した。

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか

- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

(2) 学校関係者評価について

学校関係者評価委員会において自己評価結果をもとに委員会で話し合われた確認指摘事項は以下の通りである。

以下の学校関係者評価は本校自己評価の各項目と対応している。

1. 教育理念・目標

平成27年度に建築設計科が職業実践専門課程に認定されて、これで情報システム科・ビジュアルデザイン科と3学科の認定を受けることができたので、残るゲームクリエイター科についても認定を受けられるよう準備を進めて欲しいという要望があった。

2. 学校運営

特に学校関係者委員より確認指摘事項はなかった。

3. 教育活動

平成28年3月に建築設計科が職業実践専門課程の認定を受けたので、今まで以上に地元千葉県内の建築・土木関係の企業との連携を深めて行ってほしい、との要望をいただき、またすでに認定を受けている情報システム科・ビジュアルデザイン科についても業界では人材不足なので有用な人材の育成を一層望む発言があった。

4. 学修成果

卒業生や県内の企業で勤務する社会人に対して、専門学校設備や教員などの教育資源を活かして、キャリア形成のために何らかの講座や研修会等を設けることを検討していただきたいとの意見があった。

5. 学生支援

特に学校関係者委員より確認指摘事項はなかった。

6. 教育環境

インターンシップを増やすことで、企業との連携をより強くできないかとの指摘があった。

ミニ留学も本校の大きな特徴であるので、大学も含めグローバル化が広く叫ばれている現在、本校独自のノウハウを活かした活動を行いマレーシアとの交流を図って欲しい、との意見があり、もう少し、多くの学生を送り出して欲しいとの意見もあった（現在20名）。

7. 学生の受入れ募集

特に学校関係者委員より確認指摘事項はなかった。

8. 財務

特に学校関係者委員より確認指摘事項はなかった。

9. 法令等の遵守

特に学校関係者委員より確認指摘事項はなかった。

10. 社会貢献・地域貢献

12月に文部科学省の平成27年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」委託事業の「造形のための3DCGモデリング(Maya)講座」を実施して、千葉県内の企業等から参加いただいたことは地域貢献からも非常によいという意見をいただき、引き続き可能であれば平成28年度も行ってほしいという要望をいただいた。